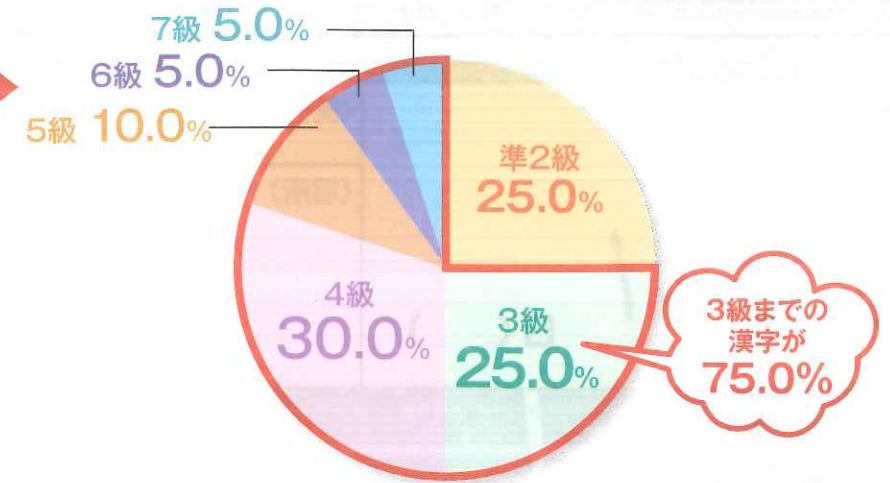




高校入試の漢字問題を分析!

高校入試で出題された漢字 頻出度ランキング

順位	漢字・熟語	解答に必要な力	出題回数(読み・書き)
1	指摘	4級	118回
2	促す	3級	114回
3	覆う	3級	112回
4	発揮	5級	106回
5	漂う	3級	105回
6	眺める	準2級	101回
6	陥る	準2級	101回
8	納得	5級	94回
9	容易	6級	93回
10	維持	4級	92回
11	獲得	4級	90回
11	示唆	準2級	90回
13	矛盾	4級	88回
14	対象	7級	87回
14	証拠	4級	87回
16	錯覚	3級	85回
17	把握	準2級	84回
17	穏やか	3級	84回
19	普及	4級	82回
20	余裕	準2級	80回



全国の公立高校入試ではほぼ毎年漢字を問う問題が出題され、**国語の配点のうち約2割を占めることもあります。**

全国の高校入試でよく出題される漢字上位20位と、その漢字が漢検何級レベルに相当するのかを調査したところ、**「漢検3級」レベルの力があれば、75%の漢字問題に解答できることがわかりました。**また、高校に進学した後も、授業やテストで漢字の力は必要とされます。

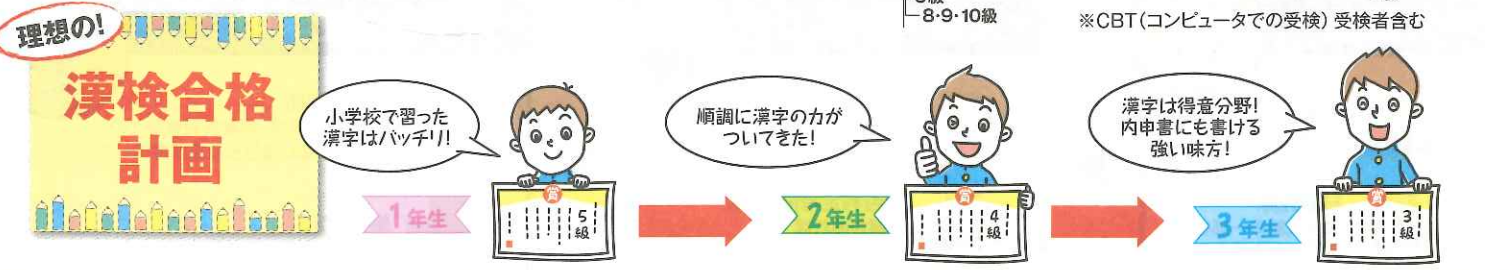
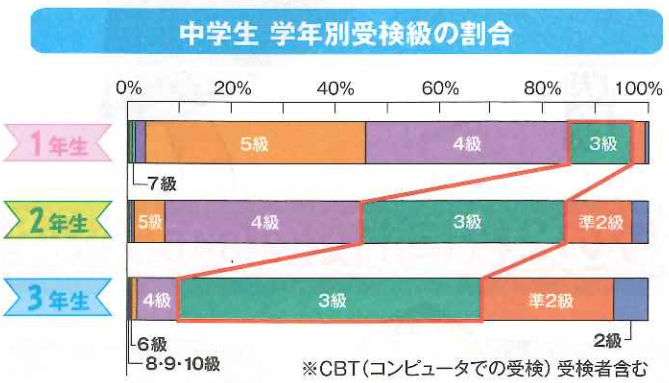
漢字を苦手と感じている人は自分の力に合った級から勉強しはじめ、中学校卒業までに高校入試レベルである漢検3級に合格できるようがんばりましょう!

過去25年間の高校入試問題から、旺文社が漢字問題の漢字・熟語の出題回数や順位を算出。そのデータをもとに、それぞれの漢字・熟語が漢検何級に相当するかを協会が調査。複数の漢字を使う語句の場合は、高い方の級を採用。
・参考文献:「2019年受験用 全国高校入試問題正解 国語」(旺文社 発行)

卒業までに漢検3級合格を目指そう!

中学1年生の受験者のうち約42%が漢検5級に挑戦しています。5級は小学校卒業レベルの漢字が出題されるため、早い段階で学び残しをなくすことができます。また、**3年生では受験者のうち約58%が3級(中学校卒業程度)に挑戦しています。**

勉強をこつこつと続けることが漢検合格につながります。着実にステップアップを重ねて「漢検3級合格」という自信を持ち、高校入試に臨みましょう!



漢検合格という自信が、学ぶ意欲につながる

漢字の勉強はこつこつ続けることが大切ですが、自主的に続けることはなかなか難しいのではないのでしょうか。漢検は「合格」という目標がやる気につながり、達成すればその努力が「賞状」というわかりやすい形で客観的に証明されます。客観的に評価されることが学ぶことへの自信につながり、国語をはじめ様々な勉強の足がかりになります。



漢検にチャレンジ!

級	レベル・対象漢字数	合格基準	検定時間	検定料(税込)
2級	高校卒業・大学一般程度 (2,136字)	200点満点 80%程度	各60分	3,500円
準2級	高校在学程度 (1,940字)	200点満点 70%程度		2,500円
3級	中学校卒業程度 (1,607字)	200点満点 70%程度		2,500円
4級	中学校在学程度 (1,322字)	200点満点 70%程度		2,500円
5級	小学校6年生 修了程度 (1,006字)	200点満点 70%程度		2,000円
6級	小学校5年生 修了程度 (825字)	200点満点 70%程度		2,000円
7級	小学校4年生 修了程度 (640字)	200点満点 70%程度		2,000円
8級	小学校3年生 修了程度 (440字)	150点満点 80%程度	各40分	1,500円
9級	小学校2年生 修了程度 (240字)	150点満点 80%程度		1,500円
10級	小学校1年生 修了程度 (80字)	150点満点 80%程度		1,500円

常用漢字がすべて読み書き・活用できるレベル

採点基準 (最終改定・平成25年4月1日)

- 採点の対象**
筆画を正しく、明確に書かれた字を採点の対象とし、くずした字や、乱雑に書かれた字は採点の対象外とする。
 - 字種・字体**
①2~10級の解答は、内閣告示「常用漢字表」(平成22年)による。ただし、旧字体での解答は正答とは認めない。
②1級および準1級の解答は、『漢検要覧 1/準1級対応』(公益財団法人 日本漢字能力検定協会発行)に示す「標準字体」「許容字体」「旧字体一覧表」による。
 - 読み**
①2~10級の解答は、内閣告示「常用漢字表」(平成22年)による。
②1級および準1級の解答には、①の規定は適用しない。
 - 仮名遣い**
仮名遣いは、内閣告示「現代仮名遣い」による。
 - 送り仮名**
送り仮名は、内閣告示「送り仮名の付け方」による。
 - 部首**
部首は、『漢検要覧 2~10級対応』(公益財団法人 日本漢字能力検定協会発行)収録の「部首一覧表と部首別の常用漢字」による。
 - 筆順**
筆順の原則は、文部省編「筆順指導の手びき」(昭和33年)による。常用漢字一字一字の筆順は、『漢検要覧 2~10級対応』収録の「常用漢字の筆順一覧」による。
 - 合格基準**
1級/準1級/2級は200点満点、80%程度で合格。
準2級/3級/4級/5級/6級/7級は200点満点、70%程度で合格。
8級/9級/10級は150点満点、80%程度で合格。
- ※部首、筆順は『漢検 漢字学習ステップ』など公益財団法人 日本漢字能力検定協会発行図書でも参照できます。

まずは目標級を決めよう。そして、今の実力にあった級からチャレンジしよう!

2018年度第1回検定の問題の一部です。もっと挑戦したい人は漢検ホームページへ!

3級 中学校卒業程度

(一) 次の一線のカタカナを漢字に直せ。

1 畑にヒリヨウを施した。

2 輸入品がレン力で販売されていた。

3 操車場で進行方向をテンカンする。

4級 中学校在学程度

(一) 次の□に共通する漢字を入れて熟語を作れ。漢字はア〜コから一つ選べ。

□走・□信・□子

ア 獣 イ 優 ウ 脂 エ 威 オ 迷
カ 怒 キ 齢 ク 搬 ケ 逃 コ 称

5級 小学校6年生修了程度

(一) 次の一線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

砂で作った城が波に流された。

漢字の読みには音と訓があります。次の熟語の読みは□の中のどの組み合わせになっていますか。ア〜エの記号で答えなさい。

1 裏地 2 割合

準2級 高校在学程度

(一) 次の一線の漢字の読みをひらがなで記せ。

1 寡少な部員で辛うじて活動が続ける。

2 常に備忘録を携帯している。

2級 高校卒業・大学一般程度

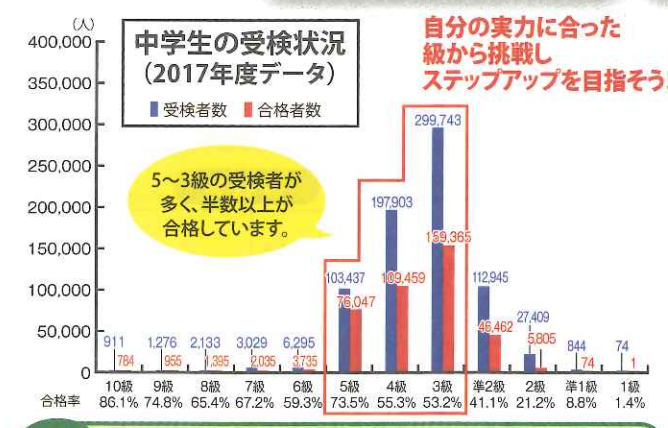
(一) 次の一線のカタカナを漢字一字と送りかな(ひらがな)に直せ。

(例) 問題にコタエル。 答える

準1級 大学卒業程度

(一) 次の一線のカタカナを漢字一字と送りかな(ひらがな)に直せ。

(例) 問題にコタエル。 答える



5~3級の受験者が多く、半数以上が合格しています。

自分の実力に合った級から挑戦し、ステップアップを目指そう!

漢検 ホームページで合格者の声を紹介中!

漢検 合格体験記 中学生